

〔研究ノート〕

高麗時代の工芸文様について—自然の描写—

高麗時代の現存する浄瓶には陶製（青磁）や銅製があり、陰刻や象嵌技法によって植物文を主とした装飾が施されたものが多くあります。アメリカのThe Cleveland Museum of Art所蔵の青磁浄瓶（図1、部分）には、細線で鸚鵡が浅く刻まれ、その描写は高麗青磁に技術的に影響を与えたと考えられている中国の越窯青磁に見られる文様と酷似しています（図2、越窯青磁陶片、浙江省上虞市窯寺前窯址出土、10世紀後半、上虞博物館）。越窯青磁では一對の鸚鵡や蝶を向かい合わせに配する構図が多く、それに対して、図1の鸚鵡は大きく飛翔する姿であらわされますが、周囲の描写は無く、浄瓶の器面を空に見立てたとも考えられますが、なお単体の文様として扱われています。

The Metropolitan Museum of Art所蔵の「青磁陽刻葦蘆水禽文水注」（図3、部分、12世紀前半）になると、流麗な片切彫りで、自然の情景が見事にあらわされています。蓼や水辺の鴛鴦、飛び立つ雁の伸びやかな姿が一幅の絵画を見るように整理された構図にまとめ

られています。今年夏の展覧「朝鮮の美術」で特別出陳を行った「青磁象嵌葦芦水禽文陶板」（12世紀後半、大阪市立東洋陶磁美術館）では上空の余白を大きく残した詩情溢れる景色が象嵌であらわされます。鶴の姿態に中国唐時代に始まる「六鶴図」の形が取り入れられていることが指摘されていますが、画面中央に配された竹と梅の取り合わせは高麗建国の王である王建の墓である顕陵の壁画にも青龍図に同じ取り合わせで描かれており（開城市海仙里）、陶磁器の文様が絵画と深く連動していることがうかがえます。

これらの青磁に対して、銅製浄瓶にもやはり青磁浄瓶と同様の文様が見られますが、青磁よりも線彫り技法や色の幅が少ない為、構図は整理され、より平明化された印象を受けます。「銅製銀象嵌柳水禽文浄瓶」（図4、部分、大和文華館）では、四カ所に大きく植物文が置かれ、下方に水流と鴛鴦、上空に飛ぶ雁が配されます。さらに中景として、植物文の間の上部に、土坡と薄がやや小さめに置かれます。土坡と植物という同様の図像

の大小に変化を付け、交互に配置することで、空間の奥行きを表現しようとする意図が感じられます。中央に植物と鳥を置き、左右やや上方に土坡（と植物）が配される場面が繰り返される形式化された構図であり、遼時代の板絵（図5、林西県博物館）にも同様の構図が認められます。遼の文物との具体的な影響関係は陶磁器や金工においては現段階では明らかではありませんが、仏画以外に高麗時代の絵画がほとんど現存していない中では、このような絵画作品との比較から読みとれる要素が重要となるのではないのでしょうか。同様に、やや年代は遅りますが、遼時代の鏡箱蓋裏に刻まれた人物図（図6、10世紀前半、通遼市ホルチン左翼後旗トルキ山古墳出土、内蒙古文物考古研究所）では、画面が三段に分けられ、中段に花卉人物文を、下段に水上に鴛鴦、上段に飛翔する雁と遠山、雲があらわされています。両者で表現は異なりますが、図4における鴛鴦と飛ぶ雁との組み合わせは、絵画との関連をうかがわせます。

また、高麗時代の銅製水瓶にあらわされた文様にもととなる図案があったであろうことは、同じ図像の作品を見いだせることから明らかにです。「銅製銀象嵌蒲柳水禽文

浄瓶」（図7、部分、韓国国立中央博物館）は水瓶の胴部全面に山岳や植物の伸びる土坡、水禽の他、舟にのる人々の姿があらわされた、緑青の色合いが美しい優品です。自然の中に人々の営みが融合した、当時の和やかな情景が眼に浮かぶようです。そして、ほぼ同じ図像がMOA美術館所蔵品にも認められます（図8、部分）。細部描写に至るまで近似し、両者がもとにした図案が同じ、或いは近い関係にある図像であったことが考えられます。作例からは未だ推測の域を出ず、未だ初歩的な段階ですが、遼や同時代の中原など、高麗と交流のあった地域の文物との比較、考察を行っていくことで、工芸品における装飾文様の位置づけをより明らかにできるのではないかと考えています。

（図1・3は『Korean Art from the Unaiated States』韓国国立中央博物館、2012年6月、図5は『Gilded Splendor』Asia Society、2006年、図6は『黄金旺族 内蒙古博物院 大遼文物展』2010年、図7は『국립중앙박물관 명품선집 9』韓国国立中央博物館、図8は『朝鮮陶磁シリーズ16 高麗の金属器と陶磁器』大阪市立東洋陶磁美術館、1991年より転写させていただきました。瀧朝子）

図1



図3

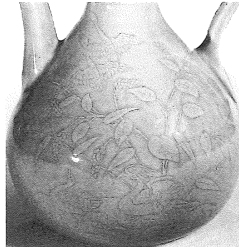


図4



図5

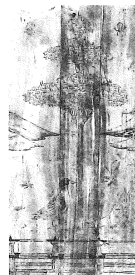


図2



図6



図7



図8

